

火の用心7つのポイント

1 たばこ

- ・ 寝たばこやたばこの投げ捨てをしない。
- ・ 吸い殻は必ず灰皿に捨てる。
- ・ 灰皿にはいつも水を入れておく。
- ・ 歩きながらたばこを吸わない。
- ・ 吸いさしを放置しない。その場を離れるときは完全に消す。

2 放 火

- ・ 家のまわりに燃えやすいものを置かない。
- ・ ごみは収集日の朝、指定された場所に出す。
- ・ 車庫や物置などの戸締りをする。
- ・ 暗い場所には街灯を付けたり、センサーライトを活用するなど明るくしておく。

3 コ ン ロ

- ・ コンロの廻りに燃えやすいものを置かない。
- ・ コンロから離れるときは必ず火を消す。

4 た き 火

- ・ 乾燥しているときや風が強いときは、たき火をしない。
- ・ 水を入れたバケツなどを準備し、残火には水をかけて完全に消す。
- ・ その場から絶対に離れない。
- ・ 周囲の燃えやすいものなどを片付ける。

5 火 遊 び

- ・ 子どもの手が届くところにライターを置かない。
- ・ 日頃から子どもに火の怖さや正しいライターの使い方を教える。
- ・ 花火をするときは、必ず大人が付き添う。

6 電気配線

- ・ タコ足配線をしない。
- ・ コードを曲げたり、ねじったり、ドアなどに挟み込んだ状態で使用しない。
- ・ コードを束ねたまま使用しない。
- ・ コードの上に物をのせない。
- ・ コンセントの抜き差しでは、コードを無理に引っ張らない。

7 ストープ

- ・ 燃えやすいものを近づけない。
- ・ ストープの近くで洗濯物を乾かさない。
- ・ カーテンの近くにストーブを置かない。
- ・ 給油は完全に火が消えたことを確認してから行う。
- ・ 対震自動消火装置付きのストーブを使用する。